

＼　逗子中学校・逗子小学校・池子小学校　／

学校と地域を
ハッピーにつなぐ♪

中部地区　コミュニティスクールだより

第１号
2026 年 10 月 23 日
中部地区学校運営協議会

2026 年度より逗子市中部地区コミュニティ・スクールの取り組みがスタートしました。

コミュニティ・スクールは、**「学校運営協議会」**を設置した学校のことで、学校・家庭・地域が一緒になって、子どもたちの成長を支える仕組みです。

地域の大人が学校運営に参加することで、子どもたちの学びや体験を豊かにし、さまざまな大人との出会いが、地域への愛着や人を大切にする心を育みます。地域にとっても、子どもたちの成長を通して人と人とのつながりが深まり、あたたかいまちづくりにつながります。

中部地区は逗子中学校、逗子小学校、池子小学校からなり、小中学校９年間を見通した教育目標を学校と地域で共有し、子どもたちの健やかな成長を地域全体で支え、子どもも大人も学び合い、つながり合える地域づくりを目指していきます。

※参考：コミュニティ・スクール紹介動画
文部科学省 youtube チャンネルより

● 学校運営協議会 委員 ●

保護者	清水　麻莉（逗子小PTA） 門間　祐哉（池小キッズサポーター） 山本　由珠（逗子中PTA）
地域	田中　美乃里（NPO法人　地域魅力） 大本　一枝（逗子小学校 学校支援地域本部） 村田　祐子（主任児童委員） 山口　勝（池子体育会） 市川　由美子（主任児童委員） 大塚　慶子（しらかば逗子乳児保育園） 横山　奈緒子（新宿地区青少年育成の会） 山ノ井　怜生（認可外保育施設 うみのこ） 押川　哲也(特別養護老人ホーム逗子せせらぎ)
学識経験者	奥村　文隆（元逗子市立中学校長）
校長	杁山　英廷（逗子小） 内田　源一郎（池子小） 出居　尚樹（逗子中）



第１回　中部地区学校運営協議会　５月 20 日　@逗子中学校

第１回は、会長、副会長の選出、各校の学校教育目標の承認等が行われました。

会長には大本委員、副会長には門間委員が選出されました。小学校から中学校への９年間の学びの継続、同じ方向性でめざす子ども像を共有し、それをもとにして共通の教育目標を立てることが必要ですが、コミュニティ・スクール初年度の今年度は、各学校独自の教育目標が各校長から説明があり、委員によって承認されました。各校はそれぞれの学校経営方針にのっとり、保護者、地域の方とともに教育活動に取り組んでまいります。

学識経験者の奥村先生からは、これまでの学校評議員会との違い等についてお話がありました。

「以前までは学校評価委員個人として学校に対して意見や学校の評価をしていたが、学校運営協議会は個人の意見としてのYES・NO ではなく、“LET‘S”の評価をお願いしたい。地域や保護者として学校と一緒にやれることは何か、子どもたちも巻き込みつつ、地域のためにできることは何か、小中学生に頑張ってほしいことは何かなど、検討していく場としていきたい。」



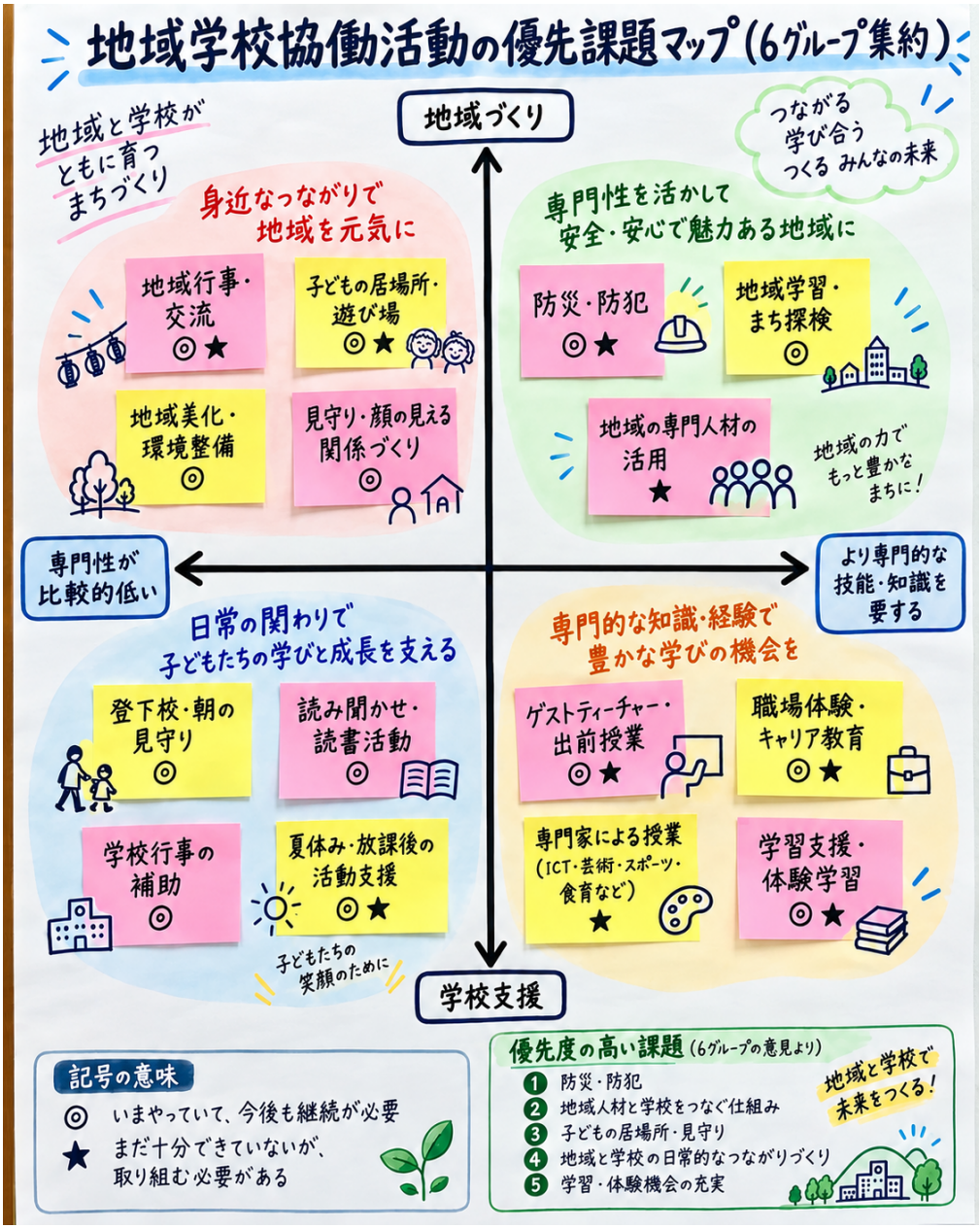
第２回　中部地区学校運営協議会　８月 25 日　@逗子小学校



第２回は、「地域学校協働活動」とは何かの確認をした上で、「中部地区ではどんな地域学校協働活動が可能か」というテーマで、委員と先生方 26 名が参加し熟議を行いました。

★“熟議”とは、さまざまな立場や考えを持つ人たちが、お互いの意見をよく聞き、対話を重ねながら、一緒によりよい解決策を考えることです。

６グループに分かれてそれぞれのグループで意見を付箋に書き、模造紙に貼り付けていきました。



出た意見を AI を使ってまとめたのがこちらの図になります。熟議が終わったあとの振り返りシートには、以下のような感想がありました。

「子どもたちのことを思ってくださっている地域の方々がこんなに多かったことに気づいた。」

「同じ問題意識を持っている人が多いこと（保護者・教員・地域の立場を越えて）に気づいた。」

「立場の違う方から、新たな視点・考え方を得られたことがよかった。」

「熱い思いを受けて自分が何かやりたい、したいと思えたことがよかった。」

この熟議のまとめを参考に、学校・家庭・地域が一緒にどのような形で協働できるのか、検討をすすめてまいります。